

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0206	政策名	健康づくりの推進	施策主管課	健康づくり課	課長名	阿部 勇悦
政策の目指す姿		心身ともに健康に暮らしています					
施策No	01	施策名	健康づくりの支援	関係課名	生活環境課、大迫・石鳥谷・東和市サ課		
施策の目指す姿		健康に対する意識が高まっています					
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> 朝食をとる人の割合が、幼児・小学生・中学生・高校生・20歳代男性で減少しています。 健康のため食事に気をつけている市民の割合は約5割、意識的に運動をしている市民の割合は約3割と、健康への意識が低い状況です。 本市では、生活習慣病である「脳血管疾患」の死亡率が全国と比較して高い状況です。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率向上を目指し、未受診者の分析やAIを活用した受診勧奨といった未受診者対策事業を実施するとともに、受診しやすい環境づくりとして商業施設での健診実施に取り組む。 ・H30年度に策定した「花巻市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づいた糖尿病及び糖尿病予備軍の重症化予防のための特定保健指導等を行う。 ・生活習慣病予防のため、保健大学、健康アップ講座、食生活改善推進員及び保健推進委員の研修や活動を通して、運動や食生活の見直しによる生活習慣の改善の取り組みを強化する。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率向上のため、ソーシャルマーケティングとAIを活用した未受診者への勧奨通知や商業施設での検診会場設置により受診率が50.1%から54%へ向上した。 ・「花巻市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の取組について対象者への特定保健指導や、医師会歯科医師会薬剤師会と健康づくり課による事例検討会を開催し、医療機関受診や受診の継続といった行動変容につながった。 ・各種研修や講座において生活習慣の改善に取り組んだ。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1)健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みの支援 食事や運動、正しい健康情報の普及啓発 ・健康アップ講座の開催 望ましい食生活や運動の実践など健康づくりへの支援 ・健康アップ講座、食育講座の開催 医師会や歯科医師会など関係機関と連携した各種健康講座などの実施 ・保健大学、健康アップ講座の開催 口腔機能の維持の重要性など、歯科保健の普及啓発と歯科健（検）診の実施 ・歯科保健大会の開催、成人、妊婦歯科検診の実施 各年代に向けた食育講座などによる食育の普及啓発 ・食育講座、伝達講習会の開催</p> <p>(2)生活習慣病の予防の推進 生活習慣病予防に向けた自己管理（セルフケア）の普及啓発と支援 ・健康づくりフロンティア事業、自動血圧計の貸出 健（検）診の受診率向上と個別の特性に応じた保健指導の実施 ・未受診者への受診勧奨、特定保健指導の実施</p> <p>(3)感染症予防の推進 予防接種の実施と普及啓発 ・予防接種の実施、こどもインフルエンザ等への費用助成、市ホームページ、広報はなまき、コミュニティFMや保育園へのチラシによる啓発の実施</p>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
食事に気をつけている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、普段から食事に気をつけているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(4)食事に気をつけているを選んだ市民の割合	%	目標値		58.80	60.60	62.40		
				実績値		59.90	55.60	54.80		
健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、意識的に運動しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(3)健康増進のために意識的に運動しているを選んだ市民の割合	%	目標値		38.40	40.30	42.20		
				実績値		31.90	33.90	33.10		
定期的に健康診断などを受けている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、定期的に健康診断を受診しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(1)定期的に健康診断などを受けているを選んだ市民の割合	%	目標値		73.00	73.50	74.00		
				実績値		74.50	76.10	76.77		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「食事に気をつけている市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート年代別クロス集計では30代以下割合が低い状況である。食生活改善推進員を通じた講習会は地域に根付いた活動を推進しているものの、参加者の固定化や高齢者が大半を占めているところもある。さらに、各地区で開催する伝達講習会が新型コロナウイルス感染症の影響で年度未分が開催できず、H30 199回 H31 173回と取組が一部減少したことが要因の1つであると史料される。 <p>成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と年代別のクロス集計を比較すると、前年度より上昇しているのは20歳～39歳と60歳～64歳、70歳以上であり、ほかの年代は横ばいか減少傾向となっている。アンケートの実施時期は外出自粛が呼びかけられていた時期でもあり、幅広い年代で運動する機会が減少していたことが要因の一つと考えられる。 <p>成果指標「定期的に健康診断を受けている市民の割合」・・・【達成度a】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診においてソーシャルマーケティングの手法を取り入れAIを活用した未受診者への受診勧奨を行ったほか、商業施設での受診会場設定などにより特定健診の受診率が向上したと考えられる。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか	
なし	
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか	
<ul style="list-style-type: none"> ・（食生活改善推進事業）「食事に気を付けている市民の割合」や「一日の推定塩分摂取量」は、新型コロナウイルス感染症の影響で調理実習等が実施困難となっており、健康相談や各種健康講座を通じて生活習慣病予防の取り組みを推進する必要がある。 ・（健康診査事業）商業施設での受診会場設定や夕方検診の設定などさらに受診しやすい環境づくりに取り組む必要がある。 ・（歯科保健事業）新型コロナウイルス感染症の影響で歯科医院での受診率が下がることが懸念されるが、介護予防と保健事業の一体的実施事業に新たに取り組むこととしており、通いの場などで歯科衛生士による健康相談を実施するなど歯科保健、口腔衛生についての知識啓発に努め、歯科検診の受診率向上を目指す。 ・（感染症予防事業）指標の変更により達成度が下がったものがあるが、予防接種や感染症予防に対する正しい知識の普及啓発や情報提供を適切な時期をとらえて周知し、感染症の発生やまん延予防に努めることにより予防接種の接種率向上を図る。 	
新たに取り組むべき事業はないか	
なし	

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、保健大学など、高齢者層の参加が多い事業について、事業実施が困難となっているものがある。 ・食生活改善推進事業についても、感染予防の観点から保健センターでの調理実習を控えたほか、自治公民館等での伝達講習も開催時期の設定が困難なものがあった。 ・従前の画一的な検診勧奨方法では、受診率向上が今以上期待できないところであり、商業施設での検診会場の設定や夕方検診（健診）など受診しやすい時間の設定などの受診しやすい環境づくりのほか、新たな取り組みであるAIを活用した再勧奨通知について一定の効果があつたことから、同様の仕組みを継続して受診率向上に取り組む必要があると捉えている。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病など生活習慣病の重症化予防について、医師会や歯科医師会、薬剤師会などと連携しながら健康アップ講座などを通じて健康課題解決に向けた取り組みを継続して実施していく。 ・感染症対策について新しい生活様式の実践を周知し、市民の感染症リスクを軽減させる必要がある。感染症リスクの軽減を図ったうえで安心して健康づくり事業や食生活改善推進事業に参加してもらえるような取組が必要である。 ・H31年度に実施した特定健診やがん検診における商業施設での実施や夕方の時間帯での健診（検診）実施は受診率向上につながっているため、R2年度も引き続き実施していく。併せて特定健診にけるAIやソーシャルマーケティングの手法を用いた再勧奨の取り組みを行っていく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
010	健康教育相談事業費 健康相談や健康教育を実施 (健康講座、健康相談の参加者数 3,081人)	健康づくり	一致	直結	B
			直結度 A		
020	健康づくり推進事業費 保健推進委員による地域への普及啓発を実施 (保健推進委員の事業協力者数 1,387人、献血本数 4,028本)	健康づくり	一致	間接・補完	B
			B		
030	食生活改善推進事業費 食生活改善推進員により生活習慣病予防に関する知識の普及を実施 (食生活改善伝達講習会 173回)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
040	健康診査事業費 各種がん検診を実施 (受診率 大腸がん 34.8%、乳がん39.3% 子宮頸がん 31.1%)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
050	歯科保健事業費 成人歯科健診、歯周病予防検診を実施(歯周病予防検診受診率 15.6%)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
060	保健センター整備事業費 公共施設マネジメント計画に基づきR2年度～R5年度に花巻保健センターの施設改修を行う。H31年度は花巻保健センター改修(修繕)計画策定業務を実施しR2から空調設備改修を実施することとした	健康づくり	間接・少数	間接・補完	-
			C		
070	感染症予防対策事業費 予防接種法により各種予防接種を実施 (風しん・麻しん混合2期の接種率 93.7% インフルエンザ予防接種率(こども) 63.1%)	健康づくり	一致	直結	C
			A		
071	感染症予防対策事業費 狂犬病予防法により予防接種を実施 (狂犬病予防の接種率 95.6%)	生活環境課	間接・少数	間接・補完	C
			C		
080	国保制度健全運営事業 特定健診と特定保健指導を実施 (特定健診受診率 54.0%)	健康づくり	間接・少数	間接・補完	B
			C		